



平成29年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月13日

上場会社名 株式会社ジンス 上場取引所 東  
 コード番号 3046 URL https://corp.jins.com/jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 仁  
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部長 (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001  
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	23,820	10.7	2,019	70.0	1,892	67.1	894	95.6
28年8月期第2四半期	21,527	21.3	1,188	33.0	1,132	34.3	457	31.9

(注) 包括利益 29年8月期第2四半期 1,079百万円(155.6%) 28年8月期第2四半期 422百万円(8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	37.30	—
28年8月期第2四半期	19.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第2四半期	27,356	15,712	57.4
28年8月期	26,232	15,232	58.1

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 15,712百万円 28年8月期 15,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
29年8月期	—	0.00	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	10.4	5,220	41.7	4,890	35.6	2,890	45.9	120.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年8月期2Q	23,980,000株	28年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	29年8月期2Q	3,491株	28年8月期	3,491株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年8月期2Q	23,976,509株	28年8月期2Q	23,976,509株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成29年4月14日(金)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(4) その他注記情報	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年9月1日～平成29年2月28日)における国内経済の状況は、一部に弱さも見られるものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府の経済対策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、中国経済を始めとした海外経済で弱さが見られており、我が国の景気が下押しされる懸念により、先行きは不透明な状況であります。

また、国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)は、平成28年3月以降、前年同期比マイナスの傾向が継続しており、足元は弱含みで推移しております。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、重要な経営課題と認識しております商品戦略の再構築、店舗オペレーションの改善等に取り組み、一定の成果が得られていると考えております。また、店舗戦略については、郊外ロードサイド型店舗展開を強化すべく出店を継続的に進めております。

国内アイウェア事業において更なる成長を実現していくためには、商品力の向上及び接客力、店舗マネジメント力の強化が必要不可欠と認識しており、引き続きこれらの諸課題に取り組んでまいります。

店舗展開につきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるアイウェア専門ショップの店舗数は、国内直営店舗314店舗(出店9店舗、退店2店舗)、中国直営店舗97店舗(出店15店舗、退店なし)、米国直営店舗4店舗(出店3店舗、退店なし)の合計415店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高23,820百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益2,019百万円(前年同期比70.0%増)、経常利益1,892百万円(前年同期比67.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益894百万円(前年同期比95.6%増)となりました。

なお、当社は平成29年4月1日付にて、「株式会社ジズ」に商号変更いたしました。

商号をブランド名と統一することにより、消費者に対するブランド認知の一層の向上を図り、グローバルブランドとして定着、確立させることを目的として商号を変更するものです。

セグメント業績の概況は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	構成比	前年同期比
国内アイウェア事業	19,960百万円	83.8%	9.9%
海外アイウェア事業	2,318百万円	9.7%	21.1%
その他	1,541百万円	6.5%	6.5%
合計	23,820百万円	100.0%	10.7%

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 「その他」の区分には、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等の収入が含まれております。

## 〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、外部のプロダクトデザイナー監修のもと、大幅にリニューアルした定番商品やマスキングテープのブランド「m t」とのコラボ商品等、質の高い商品を継続的に展開いたしました。また、メイクに合わせてメガネを提案する「TREND」シリーズや、世界初となる人工知能によるメガネのレコメンドサービス「JINS BRAIN (ジズ・ブレイン)」を展開するとともに、メガネとカルチャーを融合させ、メガネを提供するだけでなく様々なカルチャーを発信する新たな取組みとして「JINS Exploration (ジズ・エクスプロレイション)」を始動させました。

一方で、「JINS MEME (ジズ・ミーム)」につきましては、今までにない次世代ランニングソリューションの開発や集中力の可視化がもたらすパフォーマンス・生産性の改善等、事業化が期待される革新的な取組みを継続しております。

店舗展開につきましては、店舗数は国内直営店舗314店舗となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高19,960百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益2,200百万円(前年同期比63.7%増)となりました。

## 〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては競合状況及び出店環境等が、引き続き良好に推移し、順調に事業の拡大が続いており黒字の定着が図れたと認識しております。

一方で、米国においては、平成28年10月に1店舗(カリフォルニア州ロスアンゼルス市)出店し、米国1号店である旗艦店(カリフォルニア州サンフランシスコ市)および平成28年9月に開店した2店舗と併せて4店舗となりました。商品力の向上、店舗オペレーションの改善等により、早期黒字化に向け取り組んでまいります。

店舗展開につきましては、店舗数は海外直営店舗101店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高2,318百万円(前年同期比21.1%増)、営業損失228百万円(前年同期は営業損失207百万円)となりました。

## 〈その他〉

その他につきましては、メンズ雑貨事業及びレディース雑貨事業等の収入により構成されております。

店舗展開につきましては、メンズ雑貨専門ショップ19店舗(出店1店舗、退店なし)、レディース雑貨専門ショップ21店舗(出店なし、退店1店舗)となりました。

以上の結果、その他の業績は、売上高1,541百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益48百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	平成28年8月期末 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結 会計期間末 (平成29年2月28日)	増減	増減率(%)
総資産	26,232	27,356	1,124	4.3
負債	10,999	11,644	644	5.9
純資産	15,232	15,712	480	3.2

## (イ)資産

流動資産は、12,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ378百万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が209百万円増加したこと、商品及び製品が190百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、14,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ748百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が178百万円増加したこと、基幹システム等のソフトウェア開発により無形固定資産が206百万円増加したこと、敷金及び保証金が280百万円増加したこと、によるものであります。

繰延資産は、120百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。

これは主に、開業費の償却を行ったことによるものであります。

以上により、総資産は、27,356百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,124百万円増加いたしました。

## (ロ)負債

流動負債は、8,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ492百万円増加いたしました。

これは主に、未払法人税等が103百万円増加したこと、未払金及び未払費用が73百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、3,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店に伴う店舗設備及び基幹システムの入替等に伴いリース債務が130百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は、11,644百万円となり、前連結会計年度末に比べ644百万円増加いたしました。

## (ハ)純資産

純資産合計は、15,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ480百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いにより599百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益894百万円を計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期通期の連結業績予想につきまして、平成28年10月14日に発表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成29年4月5日発表の「平成29年8月期 第2四半期(累計)及び通期業績予想の修正並びに特別損失の計上のお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,349	4,558
受取手形及び売掛金	2,990	2,653
商品及び製品	4,221	4,411
原材料及び貯蔵品	133	186
その他	805	1,067
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,499	12,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,186	6,298
その他(純額)	1,494	1,561
有形固定資産合計	7,680	7,859
無形固定資産		
投資その他の資産	1,593	1,800
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,440	3,720
その他	893	976
投資その他の資産合計	4,334	4,697
固定資産合計	13,608	14,357
繰延資産		
開業費	123	120
繰延資産合計	123	120
資産合計	26,232	27,356

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,215	1,251
短期借入金	1,426	1,593
1年内返済予定の長期借入金	509	390
未払金及び未払費用	2,546	2,619
未払法人税等	746	849
資産除去債務	20	20
その他	1,181	1,413
流動負債合計	7,645	8,138
固定負債		
長期借入金	1,855	1,706
資産除去債務	196	192
その他	1,301	1,607
固定負債合計	3,353	3,506
負債合計	10,999	11,644
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,179	3,179
利益剰余金	8,999	9,294
自己株式	△1	△1
株主資本合計	15,379	15,674
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△147	38
その他の包括利益累計額合計	△147	38
純資産合計	15,232	15,712
負債純資産合計	26,232	27,356

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	21,527	23,820
売上原価	5,496	5,824
売上総利益	16,031	17,996
販売費及び一般管理費	14,843	15,976
営業利益	1,188	2,019
営業外収益		
受取利息	1	2
受取賃貸料	8	10
為替差益	11	—
その他	14	8
営業外収益合計	35	21
営業外費用		
支払利息	44	88
支払手数料	12	2
為替差損	—	39
開業費償却	19	16
その他	15	0
営業外費用合計	91	148
経常利益	1,132	1,892
特別損失		
固定資産除却損	109	117
減損損失	—	211
店舗閉鎖損失	0	18
リース解約損	1	0
特別損失合計	111	346
税金等調整前四半期純利益	1,021	1,545
法人税、住民税及び事業税	506	751
法人税等調整額	57	△100
法人税等合計	563	651
四半期純利益	457	894
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	457	894

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	457	894
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△34	185
その他の包括利益合計	△34	185
四半期包括利益	422	1,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422	1,079
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	18,165	1,914	20,080	1,447	—	21,527
セグメント間の内部売上高又は振替高	55	—	55	—	△55	—
計	18,221	1,914	20,135	1,447	△55	21,527
セグメント利益又は損失(△)	1,344	△207	1,137	51	—	1,188

(注) 1 「その他」の区分は、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	19,960	2,318	22,279	1,541	—	23,820
セグメント間の内部売上高又は振替高	41	—	41	—	△41	—
計	20,001	2,318	22,320	1,541	△41	23,820
セグメント利益又は損失(△)	2,200	△228	1,971	48	—	2,019

(注) 1 「その他」の区分は、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外アイウェア事業」セグメントにおいて、米国旗艦店(カリフォルニア州サンフランシスコ市)の減損損失を211百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (4) その他注記情報

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給与手当 4,327百万円	給与手当 4,707百万円
地代家賃 3,738百万円	地代家賃 4,105百万円
広告宣伝費 1,266百万円	広告宣伝費 974百万円